

2020年度横浜市国際交流協会（YOKE）事業報告：鶴見国際交流ラウンジ運営事業

鶴見区より「鶴見国際交流ラウンジ」の運営を受託し、「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言」にもとづき、だれもが安心して豊かに生活できる「多文化共生のまち」をめざして、各種の事業を行いました。

ア 情報提供

(ア) 多文化共生及び地域、区内のイベントに係る情報の提供

a 鶴見国際交流ラウンジニュース「手をつなごう！つるみ」の発行、7月よりホームページ掲載

発行：4月、7月、10月、2021年1月（年4回）

言語：英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ハングル、タガログ語、日本語
（7言語）

b 取材を兼ねた「おしゃべり会」の実施

日時：2021年3月3日（水） 10：30～12：00 オンラインで開催

参加者：6人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため第1～5回は中止

(イ) ホームページやFacebookでの情報発信

国際交流ラウンジの事業内容をPRするため、7言語（英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ハングル、タガログ語、日本語）でホームページにより多言語情報提供を行いました。また、Facebookで、多文化共生情報をタイムリーに発信しました。加えて、鶴見区内の催物などの情報24件を6言語に多言語化しホームページで告知を行いました。

イ 相談対応

(ア) 窓口での相談対応

窓口スタッフを常時2人配置し、多言語による相談対応や情報提供（地域の生活情報、日本語学習関連情報、国際交流情報等）を行いました。

開所日数：288日

※休館日：4～5月（新型コロナウイルス感染拡大防止のため） 毎月第3水曜日及び年末年始

開設時間	月曜日～土曜日 9：00～21：00 日・祝日 9：00～17：00
対応言語	中国語、ポルトガル語、スペイン語、英語、タガログ語、韓国・朝鮮語、日本語
情報提供・相談件数	1,471件

(イ) 横浜市通訳ボランティアの派遣制度の運営

a 横浜市通訳ボランティア派遣制度の窓口業務を行いました。

派遣マッチング数：76件

※4～5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため派遣中止、6月～9月15日は遠隔通訳、9月15日～2021年3月31日については中学校中学校進路面談、こども家庭支援課乳幼児健診・発達検査に限る対面通訳と遠隔通訳を実施しました。

b 横浜市語学ボランティア派遣依頼相談に対応しました。

語学ボランティア紹介数：21件

ウ 各種教室の実施

(ア) 託児付きの日本語教室及び生活ガイダンスの実施

a 託児付きの日本語教室「外国人親子カンガルーサロン」

テーマにそって、日本の子育てに必要な情報や日本語を勉強しました。

日時：9月～3月（月曜日） 10：00～12：00（全14回）

参加人数：外国人親子延べ38組71人

テーマ：入園・入学、予防接種、病気・病院、防災など

※12/7、12/14は、YOKE「よこはま日本語学習支援センター」と連携して開催

b 生活ガイダンス

外国人親子に対して、小児救急ガイダンスを実施しました。子育て支援拠点と外国人親子をつなぐためにわっくんひろばと連携し、わっくんひろばを会場にガイダンスを開催しました。

日時：11月30日（月） 10：00～12：00

参加者数：10人（中国人親子1組、ベトナム人親子1組、インドネシア人親子1組、中国人1人、ブラジル人1人、日本人2人）

(イ) 外国につながる子どもの学習支援

区内の小中学校と連携して、ラウンジを会場に、外国につながる児童・生徒を対象に学習支援教室を開催しました。参加児童生徒数827人 参加サポーター数762人

a 小学生対象学習支援教室「あおぞら」

日時：第1・第3土曜日 10：00～12：00

※6/6、6/20、7/4はオンライン

場所：鶴見国際交流ラウンジおよびオンライン（Zoom）

参加者数：326人（来館247人 オンライン79人）、サポーター269人（来館190人 オンライン79人）

b 中学生対象の学習支援教室「なないろ」

日時：毎週月曜日 17：00～18：30

※6/1、6/8、6/22、6/29、7/6はオンライン

場所：鶴見国際交流ラウンジおよびオンライン（Zoom）

参加者数：388人（来館171人 オンライン217人） サポーター343人（来館184人 オンライン159人） ※以下の「中学3年生に対する入試対策クラス」参加者数含む

c 夏休み宿題教室

日時：8月6日（木）、7日（金）、8日（土）10：00～12：00

※小学5・6年生と中学生対象

8月11日（火）、12日（水）10：00～12：00

※小学1～4年生対象

場所：鶴見国際交流ラウンジ研修室、鶴見中央コミュニティハウス会議室・レクホールおよびオンライン（Zoom）

対象者：あおぞら」「なないろ」に登録している児童生徒

参加者数：113人（来館57人 オンライン56人）、サポーター150人（来館53人 オンライン97人）

- d 中学3年生に対する入試対策クラス
 日時：11月～2021年2月 毎週月曜日 17:00～18:30
 場所：鶴見国際交流ラウンジ研修室
 参加生徒数：延 124人（来館 107人 オンライン 17人）
- e 中学生以上の子どもを対象に、地域で活躍できる人材育成をめざして地域人材育成研修を実施しました。

(a) 高校生・大学生が「あおぞら」「なないろ」「夏休み宿題教室」のサポーター研修を通して、教室の受付や学習支援サポーターとして活躍しました。
 （鶴見総合高校、神奈川大学、フェリス学院大学、文京学院大学、明治学院大学、立教大学）

(b) 外国につながる大卒社会人を講師に招き、外国人地域人材育成研修を開催しました。

日時：3月8日(月) 18:00～19:00

テーマ：「在県外国人等特別募集高校受験から大学進学、横浜市職員採用と現在」～日本での体験と後輩に期待すること～

講師：佐々木聖壘（横浜市中区役所職員・2019年度つるみ学習支援教室コーディネーター）

参加者：27人（学習支援サポーター含む）

(c) なないろ修了式で外国につながる卒業生が、日本に来てからの生活、高校生活・将来の夢について、後輩に語りました。

日時：3月15日(月) 18:00～18:40

参加者：24人（学習支援サポーター含む）

- (ウ) 外国につながる子どもたちの母語・母文化継承についての多様な機会の提供
 外国につながる高校生や大学生が母語を生かして学習支援教室の母語による初期日本語指導（あおぞら・なないろ教室開催日）や学習支援に活躍しました。母語を生かした通訳ボランティア活動は、アイデンティティーを確認する機会となっています。

エ 外国人市民と日本人市民の交流

(ア) 3館オープンデー「サルビアわんぱく☆ランド」

鶴見国際交流ラウンジ・鶴見中央コミュニティハウス・サルビアホールの協働イベント
 6月20日(土) 10:00～16:00に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

(イ) 交流部会による交流会

日本人市民と外国人市民の相互理解を進めるため、下記の通り、交流会を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため各イベントの定員は15人～20人としました。

テーマ・内容	実施日	参加者数
酒蔵を訪ねる	10月11日(日)	16人
鶴見の中の韓国・朝鮮を訪ねる	11月28日(土)	20人
狂言ワークショップ	2021年1月11日(土)	20人
鶴見の中の沖縄を訪ねる	2021年1月16日(土)	10人
きものを着ましよう	2021年2月6日・20日・3月6日 いずれも土曜	延べ17人

オ 市民の多文化共生に関する活動のための支援

(ア) 活動場所の提供・団体支援

a 団体への研修室の貸し出し

ラウンジ利用登録団体に研修室の貸し出しを行い、研修室を活用した日本語教室、外国につながる子どもたちの学習支援、国際交流活動等が開催されました。

登録団体数：50 団体

ラウンジ利用人数：9,558 人

研修室利用率：64.5%

2020 年度鶴見国際交流ラウンジ開閉館状況

月日	●閉館 ○開館	相談受付時間	研修室定員 (通常 24 人)
4/1 (水) ~4/10 (金)	●	9:00~21:00	—
4/11 (土) ~5/31 (日)	●	9:00~17:00	—
6/1 (月) ~7/9 (金)	○	9:00~21:00	8 人
7/10 (土) ~10/14 (土)	○	9:00~21:00	12 人
10/5 (日) ~1/11 (月)	○	9:00~21:00	18 人
1/12 (火) ~3/21 (日)	○	9:00~20:00	12 人
3/22 (月) ~3/31 (水)	○	9:00~21:00	18 人

(イ) 地域の人材育成

ボランティアの育成講座などの人材育成事業を行いました。

a 日本語学習支援

(a) 日本語ボランティア入門講座

対象：鶴見区内の日本語ボランティア活動を行う意思のある人

日時：10 月 7 日 (水) ~12 月 23 日 (水) 毎週水曜日 18:30~20:30 (全 9 回+交流会 1 回)

参加者数：17 人 (14 人が修了、うち 13 人がラウンジで活動する各ボランティアグループに参加)

(b) 日本語ボランティア ブラッシュアップ講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全講座オンラインで開催しました。

対象：現在鶴見区内で日本語ボランティアとして活動中の人

実施時期：7 月 3 日 (水) ~2021 年 3 月 10 日 (土) 全 4 回

参加者数：延べ 124 人

(c) ボランティア日本語教室

以下の日本語ボランティア 6 団体がラウンジを会場に日本語教室を開催しました。

「日本語教室 なかま」(火曜日午前・夜間)、「鶴見日本語教室」(水曜日夜間)、「日本語で楽しむ会」(木曜日午前)、「トピックスかいわ教室」(金曜日午前)、「こんにちは・国際交流の会」(金曜日夜間)、「1. 2. 3 日本語支援の会」(開催随時)

b 学習支援ボランティア研修講座の実施

(a) 日本語支援拠点施設「鶴見ひまわり」訪問研修

日時：11 月 18 日 (水) 9:30~11:40

内容：横浜市の日本語支援拠点施設・「鶴見ひまわり」の説明、授業参観、懇談

参加者：16人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員制限）

c 鶴見区福祉保健センターと連携した啓発研修会

(a) こんにちは赤ちゃん訪問事業研修

日時：10月6日（火） 14:00～15:00

場所：鶴見区役所

テーマ：外国人家庭の子育ての現状～だれもが安心して豊かに生活できる地域をめざして～

講師：鶴見国際交流ラウンジ窓口スタッフ（スペイン語・中国語）、館長

参加者：34人（こんにちは赤ちゃん訪問事業訪問員〔民生委員・主任児童委員など〕）

(ウ) 団体間のネットワーク強化

日本語部会コーディネーターが中心となって、日本語ボランティア6団体の連絡会を開催し、情報の交換、講座・イベント等の企画等を行いました。

※年7回開催：4/27、5/27、6/10、8/5、9/23、1/13、3/31

カ 共生地域づくり推進事業

コーディネーターを配置し、子育てつながりの状況と課題把握の調査を実施するとともに、地域住民の相互理解及び課題把握の調査のための交流会とワークショップを開催しました。

(ア) 2015年国勢調査小地域集計による鶴見区の外国人集住地域の把握

調査内容：外国人集住率の高い大字町名と字丁目および外国籍・外国につながる児童生徒の在籍率の高い「小中一貫教育推進ブロック」の把握

(イ) 外国人集住地域の保育園の確認と訪問調査

調査内容：外国人と日本人の乳幼児からの子育てつながりがどのようにつくられ継続されているかを把握

調査対象：外国人集住地域の8保育園（外国人集住率が5%以上）

調査期間：9月～2021年3月

(ウ) 交流会

生活ガイドダンス（11月30日）および託児付きの日本語教室（12月7日）と連携して交流を実施しました。

(エ) 講座・ワークショップ

a こんにちは赤ちゃん訪問員研修会（こども家庭支援課と連携）

研修テーマ：外国人家庭の子育ての現状～だれもが安心して豊かに生活できる地域をめざして

日時：10月6日（火） 14:00～15:00

場所：鶴見区役所1F会議室

参加者：46人（民生委員・児童委員・主任児童委員16人、子育て支援経験者18人、その他12人）

b 共生の地域づくりをめざす懇話会

日時：3月21日（日） 14:00～16:10

場所：鶴見国際交流ラウンジ研修室 A

内容：南米から来日後の生活や子育て体験を語り合い、外国人と日本人が子育てをとおしてつながり、地域でそのつながりをどのようにしたら続けていくことができるかを考えました。

参加者：12人（アルゼンチン2人、ボリビア2人、ペルー2人、ブラジル1人、鶴見区役所地域振興課 2人、横浜市国際交流協会・鶴見国際交流ラウンジ 3人）